

## いばらき農業アカデミー「グラジオラス有望系統の検討」の開催

生物工学研究所

平成 29 年 7 月 21 日（金）に生物工学研究所においてグラジオラスの現地検討会を開催しました。当日は主産地から生産者、県グラジオラス球根協会、JA 担当者など計 25 名の参加があり、育種ほ場において有望系統や育成中の系統について検討しました。育成の早い段階から現場の声を取り入れることができ、関係者が一体となったオリジナル品種の育成につながる有意義な検討会となりました。

### 1 有望系統等の評価について

- ・ほ場において有望系統や選抜中の系統を紹介し、有望性を評価しました。
- ・有望系統「PSY-1」は、県オリジナル品種の「プリンセスサマーイエロー」の枝変わり系統であり、「プリンセスサマーイエロー」が穂やけに強い作りやすく、「PSY-1」は色が黄色単色のため販売しやすい、一般小売り向けの需要が期待できる等、好意のご意見をいただきました。



「PSY-1」(左)と「プリンセスサマーイエロー」(右)

### 2 新品種「ひたち 10 号」について

- ・「ひたち 10 号」は今年 7 月 24 日に出願公表された新品種で、促成栽培で 5 月に出荷可能なピンク系の品種です。
- ・今年現地試作・試験販売を行い、生産者からは促成栽培で作りやすいとの評価を受け、JA からは 5 月の端境期に出荷でき高単価で販売できたこと、次年度販売 PR を行いたいとの説明がありました。



「ひたち 10 号」

### 3 アンケート結果について

- ・今回の講座の評価として、十分満足と概ね満足の評価を合わせ 93% の高い評価をいただきました。
- ・特にほ場での有望系統等の評価について高い関心が寄せられました。
- ・今後の新品種育成方向への意見として、穂やけに強いもの、白・大輪のもの、変った色等への要望が寄せられ、ミニグラジオラス品種育成への期待もありました。
- ・また、県オリジナル品種があることへの有利性への評価、期待の声をいただきました。

今回の現地検討会では、国内唯一のグラジオラス育種機関として大いに期待されているとともに、県オリジナル品種のバリエーション強化が求められていることを認識しました。今後も生物工学研究所では、生産者並びに市場の期待に応えられる品種育成と普及を目指します。



室内検討の様子



ほ場検討の様子